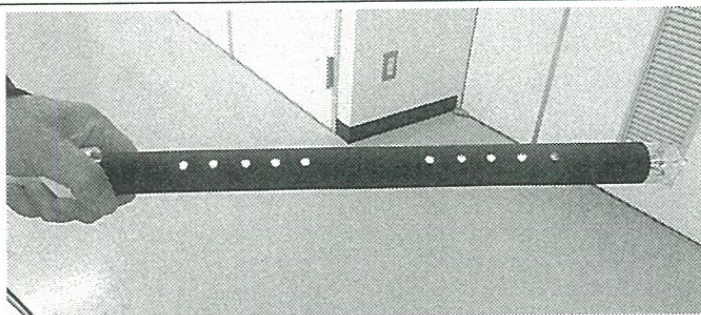


メトロ電気工業

備長炭風の焼き上がり効果

「電気七輪」を開発

高級飲食店へ提案



新開発の高出力カーボンヒーター管

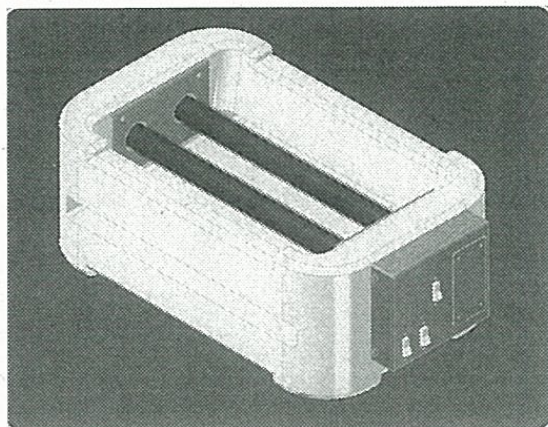
各種ヒーターの設計製造を手掛けるメトロ電気工業(本社安城市横山町寺田、川合誠治社長、電話0566・75・8811)は、カーボンヒーター管から放射される中赤外線により備長炭に近い食材の焼き上がり効果を得られるという「電気七輪」を開発した。温度のむらがなく、経験の少ない調理者でも炭火風「芯までふっくら、ジュシー」に仕上げられるため、グレードの高い料理店や居酒屋などを中心に業務用ニーズを見込んでいる。



川合誠治社長

今回、電気七輪に導入したカーボンヒーター管は、光源・熱源専門メーカーとして蓄積した加工技術を生かし、高純度カーボン

(安城・山岡賢彦)



製品イメージ図(大型タイプ)

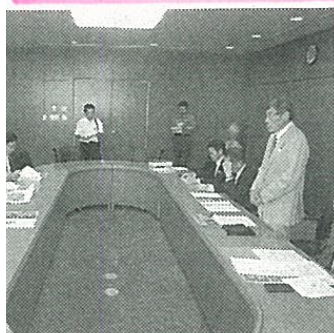
フィラメントを不活性ガラスとともに石英管に封入した。反射板の内蔵により熱効率を高め、高出力と省エネを同時に実現している。

石英管は水や料理のたれなどがかかって破損せず、ヒーター管を保護し寿命を延ばす。ヒーター管単体では既に焼き鳥チェーン店への納入実績があるという。

また、外殻部分は能登地域産の天然珪藻(けいそう)土を使用しており、軽量の上にも熱が伝わりにくく安全性が高いのが特徴。加工は全て手作業で行い、機能面だけでなくデザイン性でもナチュラルな風合いを持つ

部小学校の6年生31人の児童を対象に、金融教育に関する出前授業を実施した。同金庫の職員2人が講師を務め、お金の正しい使い方や金融機関の仕事について説明した。写真。

現在、外郭の安全性チェックなど試作が最終段階に至っており、12月の発売を目指している。川合社長は「中・高級料理店のほか、スーパーマーケットの店頭販売など、『焼きたて』を提供したい業態に広く導入を呼び掛けていきたい」と話している。



自動車部品EXPOに出展

西尾会議所 会員企業を情報発信

【西尾】西尾商工会議所は5日、愛知県の「地域産業資源活用応援ファンド」の支援機関枠に県内で唯一

尾市に報告した。同市は前回も独自出展しており、今回は産官共同による連結大